

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立本庄小学校）

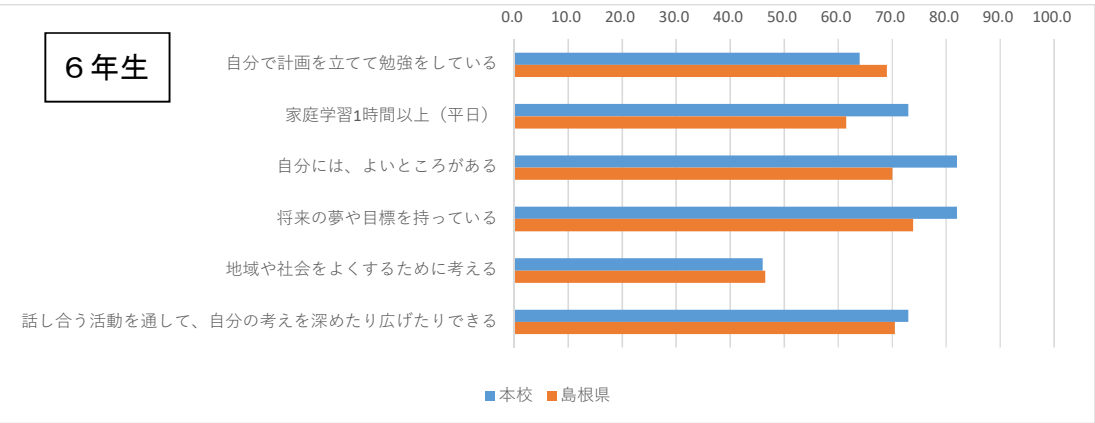
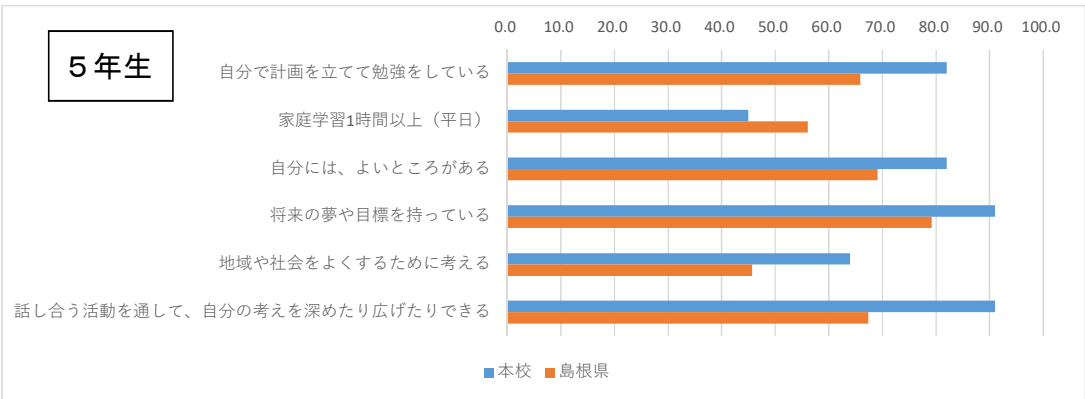
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○「物語の内容を読み取る」「説明文の内容を読み取る」「漢字を読む」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での日々の取組(読書指導・書きとり会)の成果が表れていると考えられる。 ●「文章を書く」項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	6 年 国 語	○「情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している」「登場人物の様子について、描写を基に捉えている」「文章全体の構成を捉えている」「漢字を読む・書く」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での日々の取組(読書指導・書きとり会)の成果が表れていると考えられる。 ●「条件を満たして文章に書く」項目で、全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。
5 年 算 数	○「体積」「図形の角」「小数のかけ算・わり算の計算をしたり、立式したりする」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での取組(計算会や毎日の課題)の成果が表れていると考えられる。 ●「平均を求めたり、平均の値から全体の量を推測したりする」の項目で、全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	6 年 算 数	○「対称な形」の項目では、県・全国平均よりも高い正答率となっている。授業内で、操作的な活動を意図的にたくさん取り入れた効果が表れていると考えられる。 ●「分数のかけ算・わり算」「比と比の値」などの項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっている。基礎・基本的な学力のさらなる定着を図ることが課題としてあげられる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○「朝食・夕食をきちんと食べる」「学校で使う物は、自分で用意している」「学校のきまりを守っている」「学校では、先生に挨拶している」「出かける時は、家の人に行き先を言っている」の項目では、100%の数値を記録している。これまでの学校と家庭とが連携した取組の成果と考えられる。●「家庭学習1時間以上」の項目の数値が低い。家庭学習の出し方が、今後の課題としてあげられる。	6 年	○「朝は時刻を決めて自分で起きている」「朝食をきちんと食べる」の項目では、県平均より数値が高い。日々の取組(にこにこ生活チャレンジ週間)の成果とも考えられる。 ●「自分で時間を決めてテレビを見ている」「テレビのニュースを見ている」の数値が低い。メディアとの関わり方が今後の課題としてあげられる。
--------	--	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 11名 6年生 11名 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。